

自治体と共に組織的な募集活動

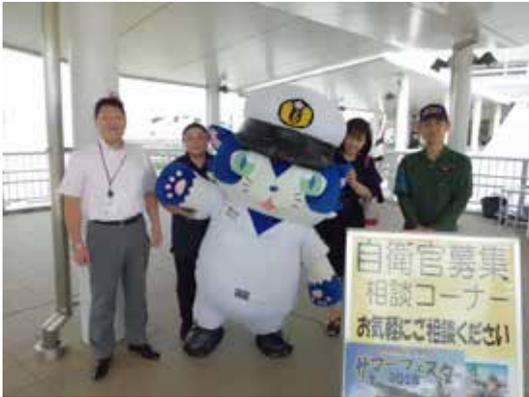
神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山3海佐）は7月1日（日）の募集解禁に伴い、担当地域である厚木市、大和市、海老名市、愛川町で市街地広報を実施している。

7月4日（水）には本部の支援を受け、海老名駅西口自由通路にて神奈川地本キャラクターの「はまにゃん」が登場し、リーフレットの配布等を行った。

当日、海老名市の募集担当窓口である市民協働部市民相談課（渡辺課長）と、職員2名の方々が活動場所に駆けつけてくれた。海老名市での募集広報活動を行う上で、地域の特性を踏まえたアドバイスをもらい、今後の市街地広報に海老名市イメージキャラクター「えびーにゃ」と合同で行う提案をされた。

また、7月1日より1ヶ月間デジタルサイネージでの募集情報の放映や、7月～9月号の海老名市広報誌での募集情報掲載の協力も得ている。そして、7月12日には市職員から今年度初の募集対象者情報の提供を得ることが出来た。

厚木募集案内所は、「今後も、自治体と協力し組織的に募集広報を実施して、より効果的に地域住民にPRしていく」としている。



市街地広報に駆けつけてくれた
渡辺課長と市職員の方2名と
岡山所長（写真右）

駅前で地本キャラクター「はまにゃん」が自衛隊をPR

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原1等陸尉）は、7月3日（火）横浜市京急上大岡駅前市街地広報を実施した。

これは、高校生の募集解禁に伴い神奈川地本として設定した募集強化期間に基づき実施したもので、当日は本部から副本部長を始めとする6名と神奈川地本のキャラクター「はまにゃん」、更には山野井募集相談員会長と田中家族会副会長らが支援に駆けつけ、梅雨明けの30度を超える猛暑の中、汗だくになりながら募集広報を行った。

駅前のアーケードに「はまにゃん」が現れると、子供たちが寄ってきて体に触れるなどして楽しそうに握手をしたり、写真撮影をしていた。

また、配っている迷彩ティッシュと自衛隊の写真を見て立ち寄った学生が「自衛隊の職種について教えてください」と広報官に尋ねて来るなど、興味を持っていることが窺えた。

上大岡募集案内所は、「今後も本部や協力団体と連携しながら、担当地域での市街地広報を積極的かつ地道に継続し、神奈川地本の募集目標達成に貢献したい」としている。



市街地広報中の山野井相談員会長（右）
と塩川副本部長（左）



「はまにゃん」と握手する学生